# DIAS CEOP衛星データセット ( ADEOS-II > GLI > 3COPIE )

## 1. 識別情報

| | |
|---|---|
| 名称 | CEOP衛星データセット ( ADEOS-II > GLI > 3COPIE ) |
| 版 | 1.0 |
| 略称 | Coordinated Energy and Water-Cycle Observation Project Satellite Datasets ( ADEOS-II > GLI > 3COPIE ) |
| DOI | doi:10.20783/DIAS.87 [https://doi.org/10.20783/DIAS.87] |
| メタデータID | CEOP_Satellite_ADEOS_II_GLI_3COPIE20230727054434-DIAS20221121113753-ja |

## 2. 問合せ先

### 2.1 データセットに関する問合せ先

| | |
|---|---|
| 名前 | JAXA DIAS 担当 |
| 組織名 | 宇宙航空研究開発機構 |
| 住所 | 日本, 305-8505, 茨城県, つくば市, 千現2-1-1 |
| 電話番号 | +81 50 3362 3064 |
| ファクシミリ番号 | +81 29 868 2961 |
| 電子メールアドレス | dias at ml dot jaxa dot jp |

### 2.2 プロジェクトに関する問合せ先

#### 2.2.1 データ統合・解析システム

| | |
|---|---|
| 名前 | DIAS事務局 |
| 組織名 | 国立研究開発法人海洋研究開発機構 |
| 住所 | 日本, 236-0001, 神奈川県, 横浜市, 金沢区昭和町3173番25 |
| 電子メールアドレス | dias-office@diasjp.net |

## 3. ドキュメント作成者

| | |
|---|---|
| 名前 | JAXA DIAS 担当 |
| 組織名 | 宇宙航空研究開発機構 |
| 電子メールアドレス | dias at ml dot jaxa dot jp |

## 4. データ作成者

| | |
|---|---|
| 名前 | JAXA DIAS 担当 |

| | |
|---|---|
| 組織名 | 宇宙航空研究開発機構 |
| 電子メールアドレス | dias at ml dot jaxa dot jp |

# 5. ドキュメント作成年月日

2023-07-27

# 6. データ作成年月日

creation : 2010-03-15

# 7. データセット概要

## 7.1 序論

CEOP衛星データセットは、衛星オリジナルデータから等緯度経度格子へリサンプリングしたグリッドデータである。データ期間はCEOPフェーズ１で定義しているEOP-3、EOP-4期間およびフェーズ２の2007年以降である。出力データの対象領域は３５地点（フェーズ１の場合）もしくは５２地点（フェーズ２の場合）のリファレンスサイト、５箇所のモンスーン領域および全球の３タイプのスケールがある。使用している衛星データは、MODIS、AMSR-E、SSM/I、PR、TMI、AVNIR2、PALSAR、PRISM等と数多く、データセットのパラメータも大気圏、海洋圏、陸圏、雪氷圏と多岐におよぶ。

Enhanced Observing Period EOP-3: 01/10/2002 - 30/09/2003

EOP-4: 01/10/2003 - 31/12/2004

■衛星

ADEOS-Ⅱ（みどりⅡ）

【正式名称】 Advanced Earth Observing Satellite-II（環境観測技術衛星）

2002年12月14日に打ち上げられた日本の地球観測衛星。

AMSR、GLI、ILAS-II、SeaWinds、POLDERの 5つのセンサを搭載している。

■センサ

GLI

【正式名称】 Global Imager（グローバル・イメージャ）

ADEOS-II搭載センサ。

海域を含めた地球表面及び雲からの太陽反射光あるいは赤外放射光をグローバルかつ高頻度で観測し、クロロフィル濃度、溶存有機物、表面温度、植生分布、植生バイオマス、雪氷分布、雪氷アルベドなどの物理量を測定することを目的とした光学センサ。

海表面温度、海色など海洋のデータを高頻度に得ることに適したセンサ。可視近赤外域 (VNIR) に23チャンネル、短波長赤外域 (SWIR) に6チャンネル、中間・熱赤外域 (MTIR) に7チャンネルを持つ。

■プロダクト

・Product Level

L3

・Product Code

3COPIE

・Description

Cloud optical thickness of ice cloud by emission method

## 7.2 トピックカテゴリ(ISO19139)

climatologyMeteorologyAtmosphere

## 7.3 時間情報

| | |
|---|---|
| 開始日 | 2003-04-02 |
| 終了日 | 2003-10-24 |

## 7.4 地理的範囲

| | |
|---|---|
| 北限緯度 | 90 |
| 西限経度 | -180 |
| 東限経度 | 180 |
| 南限緯度 | -90 |

## 7.5 グリッド

## 7.6 地理情報を識別する名称

## 7.7 キーワード

### 7.7.1 データセットに関連するキーワード

| キーワードタイプ | キーワード | シソーラス名 |
|---|---|---|
| theme | Atmosphere > Clouds > Cloud Microphysics > Cloud Optical Depth/Thickness | GCMD_science |

### 7.7.2 プロジェクトに関連するキーワード

#### 7.7.2.1 データ統合・解析システム

| キーワードタイプ | キーワード | シソーラス名 |
|---|---|---|
| theme | DIAS > Data Integration and Analysis System | No_Dictionary |

## 7.8 データセットに関するオンライン情報

CEOP : http://www.ceop.net/

CEOP Model Output Archive : http://www.eol.ucar.edu/projects/ceop/dm/model/

CEOP Model Output Data Gateway : http://ceop.wdc-climate.de

CEOP Data Management : http://www.eol.ucar.edu/projects/ceop/dm/

CEOP Model Data Gateway : http://www.mad.zmaw.de/projects-at-md/ceop/

CEOP Model Center Documentation Table : http://www.eol.ucar.edu/projects/ceop/dm/model/model_table.html

Multi-model Analysis for CEOP : http://gmao.gsfc.nasa.gov/research/modeling/validation/ceop.php

MODIS : http://modis.gsfc.nasa.gov/

AMSR-E : http://sharaku.eorc.jaxa.jp/AMSR/index.html

SSM/I : http://ghrc.nsstc.nasa.gov/

PR,TMI : http://trmm.gsfc.nasa.gov/

AVNIR2,PALSAR,PRISM : http://www.eorc.jaxa.jp/ALOS/en/index.htm

「出典：宇宙航空研究開発機構（JAXA）」 : http://www.satnavi.jaxa.jp/project/adeos2/index.html

From CEOS Systems Database : http://ceos-sysdb.com/CEOS/

SEO Wiki (Shibasaki Group) : http://dias.csis.u-tokyo.ac.jp/dict/seo/index.php/ADEOS-II

SEO Wiki (Shibasaki Group) : http://dias.csis.u-tokyo.ac.jp/dict/seo/index.php/GLI_/_Global_Imager

ファイルダウンロード : https://data.diasjp.net/dl/storages/filelist/dataset:87

## 7.9 データ周辺情報

## 7.10 データ配布情報

| 配布識別名 | 配布バージョン | 配布に関する説明 |
|---|---|---|

# 8. 系譜情報

# 9. 品質等

# 10. 利用規約

## 10.1 データ提供者によるデータ利用規約

1. CEOP衛星データの金銭等による引き換えは一切応じない
2. CEOP衛星データの商用および営利目的の使用を禁じる.
3. CEOP衛星データアーカイブから受取ったオリジナルデータの第三者への再配布および転送を禁じる.

4. CEOP衛星データを使用した学術成果の公開にあたっては，CEOP衛星データの出所を成果物に以下のように表記すること．2001～2004年のデータ利用においては，“本成果で使用した衛星データは，the Coordinated Enhanced Observing Period（CEOP）の枠組みのもとで提供されたものである”．また，2005年以降のデータ利用においては，“本成果で使用した衛星データは，the Coordinated Energy and Water Cycle Observations Project（CEOP）の枠組みのもとで提供されたものである”．

5. CEOP衛星データを使用した学術成果の公開にあたっては，著者はその成果物のコピーを可能な限り電子媒体にして ceop@monsoon.t.u-tokyo.ac.jp 宛に提出しなければならない．

CEOP衛星データセットのデータポリシー完全版は　　http://monsoon.t.u-tokyo.ac.jp/ceop2/satellite/guideline-info.html　である．

CEOP衛星データを使用した学術成果の公開にあたっては，CEOP衛星データの出所を成果物に以下のように表記すること．

2005年以降のデータ利用においては，”本成果で使用した衛星データは，the Coordinated Energy and Water Cycle Observations Project（CEOP）の枠組みのもとで提供されたものである”．

また，2001～2004年のデータ利用においては，”本成果で使用した衛星データは，the Coordinated Enhanced Observing Period（CEOP）の枠組みのもとで提供されたものである”．

## 10.2 プロジェクトによるデータ利用規約

### 10.2.1 データ統合・解析システム

データ提供者がデータ利用規約を定めていない場合は，DIASサービス利用規約（https://diasjp.net/terms/）およびDIASプライバシーポリシー（https://diasjp.net/privacy/）が適用されます．

DIASサービス利用規約とデータ提供者によるデータ利用規約に齟齬がある場合は，データ提供者によるデータ利用規約が優先して適用されます．

# 11. ライセンス

# 12. 謝辞の記載方法

## 12.1 データ提供者の指定による謝辞の記載方法

## 12.2 プロジェクトの指定による謝辞の記載方法

### 12.2.1 データ統合・解析システム

このデータセットを利用して学会発表，論文発表，誌上発表，報告などを行う場合は，以下を参考に謝辞を記載すること．また，データ提供者が示す謝辞の記載方法がある場合は，それも併記すること．

“ 本研究では、[データ提供者の名称]が提供する[データセットの名称]を利用した．またこのデータセットは、文部科学省の補助事業により開発・運用されているデータ統合解析システム(DIAS)の下で，収集・提供されたものである． ”

# 13. 参考文献